



from NEW YORK from NEW YORK from NEW YORK  
**マッシュ-川口**  
 from NEW YORK from NEW YORK from NEW YORK

# from New York

「会社が君の  
 パソコンを見張る時」の巻

「ハッピーニューイヤー2000！」から、すでに1か月が過ぎたネ。その後調子はどうか？ ニューヨークはただいま厳冬の季節。部屋はヒーターでぬくぬくで半袖のTシャツでOKだけど、外を歩く時はエスキモー帽子に南極探検隊のようなかっこで歩いてるよ。

ところで、最近こちらのある日系銀行に勤めている日本人の友人から「会社宛てのメールはちょっとまづくなったので、これからは自宅のアドレスへ送ってね」というメールが届いた。聞くと、どうやらボスからオフィスでの私用メールは慣むように！というお触れがあったらしい。

「へー、やはりうるさくなってきたのね~」なんて思っていた矢先、アメリカではすでにそんなもんじゃすまない段階に入っていたのよ。ニューヨークタイムズ紙によると、ゼロックス社 **Jump** では昨年10月、40人の社員が解雇されたという。その理由は勤務中にポルノグラフィのウェブサイトブラウジングしてたからというものだったの。(今どきとした人は誰？(^^)；)

なんと、この会社では世界で9万2千人いる社員全員のメールをチェックするほか、誰がどのウェブにどれくらい行ったかなどをソフトウェアを使って逐一モニターしているという。ヒエ~、随分厳しいね。会社の勤務時間に会社のパソコンを使ってるんだから会社には監視する権利があるというのがその言い分。納得するような納得できないような.....

最近、プロ向け就職情報サイトの「Vault.com」 **Jump** が米国の企業に勤める1200人を対象に行った調査でも、54パーセントの社員が仕事に関係ないサイトをブラウズしていたという結果が報告されている。ゼロックス社ではその防止策として、社員がログオンするたびに「仕事に関係ないウェブを使うことなかれ」というメッセージがピカピカとフラッシュするらしいよ。

だけど、昨今これだけオフィスで社員がネットを使ってるんだから、会社が目を光らせるのも当然かな。会社としても、仕事中に小型のラップトップの前でパチパチやって、いかにも仕事してそうな真面目な顔して、実はエッチサイトを見てたりお買い物したり勝手に株のトレーディングやコンピュータゲームをやられたりしちゃたまらないわね。能率低下間違いなし！ゼロックス社では、社員はチェックされていることを考慮の上で毎日仕事をしているという。ノーシークレット！会社への秘密は存在しないのだ。

社員数4800人のコンパック社でも「Websence」(ウェブセンス)というソフトを使って、やはり全社員をモニターしている。社員はセクハラの証拠にでもされては大変とヒヤヒヤしているらしいよ。



カワグチ マサヨ

ニューヨーク在住のフリージャーナリスト。テレビやラジオでニューヨークからのレポートを送っている。ほかにコナミの人気ゲーム「ときめきメモリアル」の片桐彩子役(声優)としても活躍。

**Jump** masshy.com



新たに登場した「Spector」(スペクター)というソフトを使えば、社員のパソコン画面を2~3秒に1回、デジタルスナップショットを撮ることによって誰がどのウェブに行ったかを監視できるそうだし。\*\*) 要するに会社は証拠が欲しいわけよね。アメリカはなにかという弁護士が出てきて裁判だからね。証拠は絶対に必要不可欠なもの。

また、ニューヨークタイムズ紙でもバージニア州ノーフォークの中央プロセッシングセンターでポルノのイメージファイルをメールでやりとりしていた23人の社員がクビになってるね。ここでは全社員のモニター監視には至らなかったけど、逆に社員から勤務中の行動を監視するモニタープロダクトは非常に気持ちが良いくないし落ち着かないという反発がなされたみたいも。中には、法廷でプライバシーについて議論を闘わせている社員もいるという。「会社の持ち物のパソコン設備だからその使い方をチェックするのは当然」というのなら、それはエスカレーターしていくと「うちのトイレを使っているから便器にカメラを置くよ」といっているようなものだという反撃もある。@@)

そのほか、こんなケースもあるの。サンディエゴの現職の警察官が、なんと警察署内の監視モニターに <www.Whitehouse.com> という違法ポルノサイトをブラウズした記録が残っていたという理由で解雇されたんだけど、本人は実はクリントン大統領のいらっしゃる方のホワイトハウス <www.whitehouse.gov> に行こうとしてミスタイプをしたのだと主張。間違った解雇であるとして10万ドル(約1,000万円)の慰謝料を請求して現在裁判を進行中だそう。ホントのところはどうなんだろうね？これは本人の心のみぞ知るわけだもの。

こうしたこともあってか、今やアメリカの会社の45パーセントは社員の電話の内容、メール、ファイルの



チェックをしているらしい(アメリカン・マネージメント・アソシエーション調査)。プライバシーにうるさいアメリカでは、もちろんこの問題はまだ賛否両論。そこまで会社がやっていいのかという問いかけはまだまだ続きそうね。確固たる法律はまだないのだけど、今のところひとまず仕事に無関係なサイトに行った社員を見つけてクビにするところから、怠け社員狩りを始めているみたい。

だけど、いちいち自分のウェブ行動を記録に残されて、打ったワードの一語一句を監視されるのはたまらないよね。

これからは21世紀に向けて、SOHOも増えてくる時代。今後どこまで見られるか、どうやって監視から逃れるか、イタチゴッコはまだまだ始まったばかり。貴方のオフィスはだいじょうぶ？お気を付けあそばせ。

ではでは、またね。2000年もよろしくね！マッシュ~)

- 今月の関連サイトはココね！
- ゼロックス社のサイト **Jump** www.xerox.com
- vault.comのサイト **Jump** www.vault.com

Illust: Kido Satoko





## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)